別紙３

厚生労働科学研究費補助金（医療機器開発推進：低侵襲・非侵襲医療機器（ナノテクノロジー）研究事業）
分担研究報告書

幹細胞への超音波遺伝子導入・培養・保存方法の検討

分担研究者　宮本義孝　独立行政法人国立長寿医療研究センター　招聘研究員

研究要旨

本研究では，母体外からの超音波照射により胎児標的組織（細胞）に目的遺伝子を導入し，遺伝子機能異常の出生前発現を低侵襲性に一定期間是正する安全性の高い胎児期遺伝子治療の確立を目的とする．そこで，本年度も引き続き，プロジェクトの基盤技術である超音波遺伝子導入法を用い，幹細胞（ASCs など）への遺伝子導入実験を行った．超音波造影剤として利用されているマイクロバブル（ソナゾイド）を用いて，ASCs への超音波遺伝子導入実験を行った．ソノポレーション後（マイクロバブル 10%, 超音波照射条件: 周波数 3.1MHz, Duty 比 50%, Burst Rate 2.0Hz, Duration 30sec, 出力強度 1.27 W/cm^2）に，細胞の約 40%はダメージを受けたが，細胞内への遺伝子の取り込みが確認できた．さらに，幹細胞の中でも，有力な細胞ソースである誘導多能性幹細胞(Induced pluripotent stem cells: iPS)の凍結保存液を検討し，最適な保存液を見出した．

A．研究目的

本研究では，母体外からの超音波照射により胎児標的組織（細胞）に目的遺伝子を導入し，遺伝子機能異常の出生前発現を低侵襲性に一定期間是正する安全性の高い胎児期遺伝子治療の確立を目的とする．そこで，本年度も引き続き，プロジェクトの基盤技術である超音波遺伝子導入法を用い，幹細胞（Adipose tissue-derived stem cells: ASCs など）への遺伝子導入実験を行った．特に，これらの幹細胞に特定の遺伝子を導入することにより，移植時における目的細胞へ分化誘導することが可能となる．現在，遺伝子導入研究は，遺伝子導入効率の点からウイルスベクターを用いたものが主流であるが，臨床応用と安全面を考慮すると，非ウイルスベクターを用いた超音波遺伝子導入法（ソノポレーション）も有力な手法の一つである．そこで，本研究では，マウス皮下脂肪組織を採取し，分離して得られた ASCs を本実験に用いた．

さらに，幹細胞の中でも，有力な細胞ソースである誘導多能性幹細胞(Induced pluripotent stem cells: iPS)の最適な凍結保存法を検討したので報告する．山中らにより，iPS 細胞はマウス線維芽細胞から 2006 年に樹立され，体を構成する組織や臓器に分化誘導すること，すなわち，高い多分化能を有しており，移植・再生医療などの様々な分野への応用が期待されている．そこで，本研究では，マウス iPS 細胞を用いて，最適な凍結保存法を検討したので報告する．

以下に、本年度の課題項目を示す．

1）ASCsへの超音波遺伝子導入

2）誘導多能性幹細胞の凍結保存液の検討

B．研究方法

B-1 ASCs への超音波遺伝子導入

【細胞】マウス皮下脂肪組織（C57BL/6, 雌, 10 週齢）を採取し，コラゲナーゼを用いて脂肪細胞を分離し SVF を得た．SVF を 37 ℃，5%CO_2 下で培養し，最終的に，骨・脂肪に分化可能な ASCs を得た（**Fig 1**; 脂肪および骨への分化の確認方法として，Oil Red O 染色および Von Kossa 染色を用いた）．以下に，その培養液の組成を示す（DMEM/F12 (Invitrogen), 20%FBS (Bench Mark), 1%Penicillin Sereptomycin (Invitrogen)）．

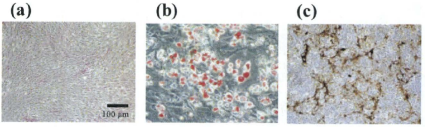


Fig 1. Adipo/osteogenic differentiation of ASCs. (a) The morphology of isolated and cultured ASCs. (b) Adipogenic differentiation of ASCs. The cells were stained with Oil Red O 1 week after adipogenic induction. (c) Osteogenic differentiation of ASCs. The cells were stained with Von Kossa stain 1 week after osteogenic induction. Scale bar, 100 μm.

【材料】哺乳類細胞レポーターベクター として，Lac Z 遺伝子を含むプラスミド DNA（pCMVβVector (PT2004-5); Clontech）および GFP 遺伝子をコードするプラスミド DNA（pEGFP-N3）を用いた．超音波造影剤として，臨床検査で使用されているソナゾイド（第一三共株式会社）を用いた．

【方法】96 穴培養皿（Nunc）上に，ASCs を播種し（2x10^4 cells/100uL），37 ℃，5%CO_2 下で 24 時間培養した．細胞培養後，培養皿内の各ウェルに対して，超音波照射条件を設定し，細胞への遺伝子導入およ

びダメージを評価した(周波数: 3.1MHz, Duty比50%, Burst Rate 2.0Hz, Duration 30sec, 出力強度 1.27 W/cm^2). 超音波遺伝子導入装置はソノポール 4000 (KTAC-4000, NEPAGENE), 超音波プローブはドーム前方照射型 8mmT を用いた. 細胞生存率の評価方法として, 高感度水溶性ホルマザンを生成する新規テトラゾリウム塩 WST-8 を発色基質として用いた評価方法 (Cell Counting Kit-8; DOJINDO) を利用した.

遺伝子導入実験は, プラスミド DNA とマイクロバブルを混和したのち, 直ちに, 96 ウェル内の ASCs の培地を交換し, 超音波を照射して, マイクロバブルを破砕した. マイクロバブル破砕後, 培地交換を繰り返し, ソナゾイドの被膜 (ホスファチジルセリンナトリウム) を除去した. 除去後, ウェル内に細胞培養液を加え, 37℃, 5%CO_2 下で 24 時間培養し, 細胞内への遺伝子の導入を検証した.

B-2 誘導多能性幹細胞の凍結保存液の検討

マウス iPS 細胞 (理化学研究所細胞バンクより供与) の凍結保存液として, 培養液, 培養液+10% DMSO, 培養液+10% Glycerol, 培養液+5% DMSO, 培養液+5% Glycerol, 培養液+5% DMSO+5% Glycerol, Cell Freezing Medium-DMSO , Cell Freezing Medium-Glycerol, セルバンカー, セルバンカープラス, セルバンカー2, セルバンカー3を使用した。凍結は, バイセル (BICELL) を用い, 緩速凍結にて−80℃下で保存した(1週間から1年間). 融解後, iPS 細胞の生存率を測定し, 1-3 日間培養後, 細胞の形態を観察し, その増殖能を検討した.

(倫理面への配慮)

名古屋大学

実験動物に関して, 「動物の愛護及び管理に関する法律」(昭和 48 年法律第 105 号), 「実験動物の飼養及び管理等に関する基準」(昭和 55 年総理府告示第 6 号) 及び「名古屋大学動物実験指針」に基づき, 適正な使用及び取り扱いを行う.

独立行政法人国立成育医療センター・国立長寿医療研究センター

実験動物を用いる研究については、国立成育医療センター・国立長寿医療研究センター動物実験指針に準拠して研究を実施する。特に、動物愛護と動物福祉の観点から実験動物使用は、目的に合致した最小限にとどめる。またその際、麻酔等手段により苦痛を与えない等の倫理的配慮をおこなう。実験者は、管理者と相互協力のもと適切な環境のもと飼育管理を行う。

C. 研究結果

C-1 ASCs への超音波遺伝子導入

ASCs への超音波遺伝子導入手法として, 以下の 2 通りの方法を用いた (**Fig 2**). Method-1 は, 培養皿の細胞接着面側から超音波を照射する方法, Method-2 は, 培養皿の細胞接着面と反対側から超音波を照射する方法である. また, Methods-2 を行う際には, 培養皿内を調製液で満たし, 気泡が入らない様にシーリングした. そして, 培養皿を裏返し, 細胞接着面にマイクロバブルが接近した (浮上した) 後に, 超音波照射を開始し実験を行った.

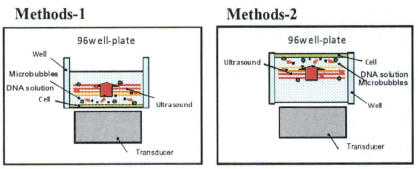


Fig 2. Two methods were used for US exposure. Methods-1: cells were subjected to ultrasound on the attaching side. Methods-2: cells were exposed to ultrasound from the other, non-attached, side.

結果, 両手法を比較すると, Methods-2 の方が, ASCs へ効率よく Lac Z 遺伝子を導入することができた. さらに, 我々は, Methods-1 のプラスミド DNA/マイクロバブル量を 100μl から 30μl に変更し, 上記と同様の実験を行った. 結果, 細胞接着面とマイクロバブル間の距離が接近することにより, Methods-1 においても, Methods-2 と同様に, ASCs へ効率よく Lac Z 遺伝子を導入することができた. したがって. 本実験では, 手技が簡単である Methods-2 を採用することにした.

次に, 超音波照射における ASCs への影響を評価した (**Fig 3**). 培地のみの場合は, 細胞に対する影響はほとんどなかった. 10%マイクロバブル存在下では, 細胞の約 40%がダメージを受けた. さらに, マイクロバブルの割合 (10-40%) を増加させるにつれて, 細胞へのダメージの減少とともに, 遺伝子導入率も減少した. 以上の結果より, 細胞への遺伝子導入率が最も高かった, マイクロバブル 10%存在下で本実験を行うことにした.

Fig 4 には, ソナゾイドおよび GFP プラスミド DNA (pEGFP-N3: 60 μg/ml) を用いた超音波照射による ASCs への遺伝子導入実験の結果を示す. ASCs への GFP プラスミド DNA のみによる超音波照射では, GFP 遺伝子の発現は見られなかった (**Fig 4: b**). 一方, 10%マイクロバブル, GFP プラスミド DNA の存在下で超音波照射を行うと, ASCs への GFP 遺伝子の導入が確認された (**Fig 4: c, d**). さらに, GFP

プラスミド DNA（pEGFP-N3: 5-150 μg/ml）の量を増加させるにつれて，ASCs への遺伝子導入率が高まった．

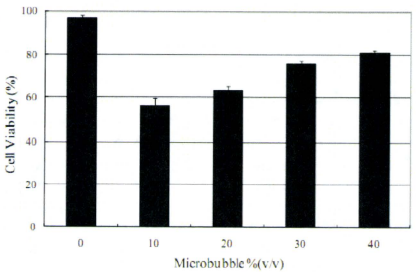


Fig 3. The viability of ASCs before/after sonoporation (0-40%). In these experiments, 2×10^4 cells per well were subjected to US (frequency 3.1 MHz, duty cycle 50%, burst rate 2.0 Hz, intensity 1.27 W/cm^2) for 30 sec.

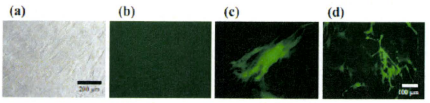
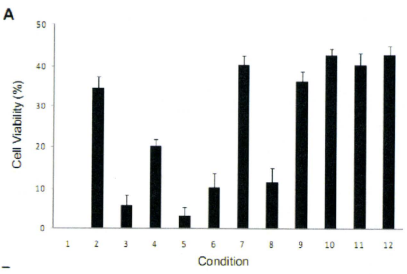


Fig 4. Microscopy after GFP gene transfer. (a) Light microscopy of a normal control sample without sonoporation and GFP gene transfer (60 μg/ml). (b) Fluorescent microscopy of a normal control sample without GFP expression. (c, d) Fluorescent microscopy revealed GFP expression after sonoporation with the GFP gene (60 μg/ml) and 10% sonazoid. Scale bar, 100-200 μm.

C-2 誘導多能性幹細胞の凍結保存液の検討

12 種類の凍結保存液を用いて，凍結融解後の iPS 細胞の生存率，細胞形態および増殖能を評価したところ，セルバンカープラス，セルバンカー 3 が細胞の形態も良く，増殖能も高い傾向を示した（**Fig 5, Fig 6**）．



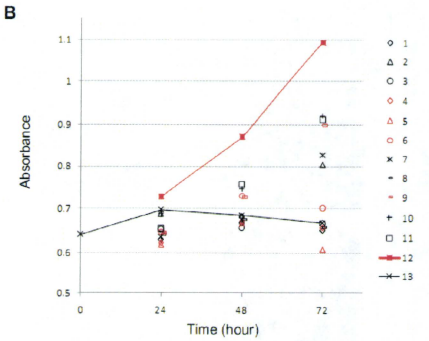


Fig 5: The viability (A) and proliferation (B) of the cryopreserved iPS cells frozen using different preservation solutions. 1; ES culture medium, 2; ES culture medium containing 10% DMSO, 3; ES culture medium + 10% Glycerol, 4; ES culture medium + 5% DMSO, 5; ES culture medium + 5% Glycerol, 6; ES culture medium + 5% DMSO, 5% Glycerol, 7; Cell Freezing Medium-DMSO, 8; Cell Freezing Medium-Glycerol, 9; Cell Banker 1, 10; Cell Banker 1$^+$, 11; Cell Banker 2, 12; Cell Banker 3, 13; only MEF feeder cell. The data are the means and SD of three independent experiments.

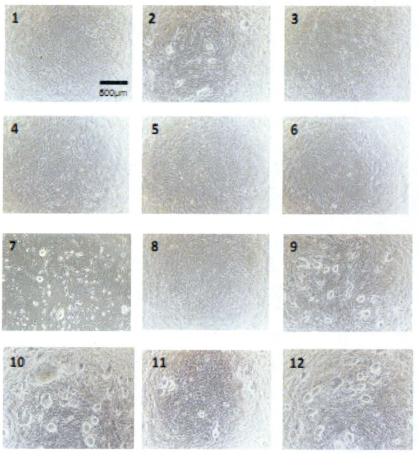


Fig 6: The phase-contrast photomicrographs of iPS cells after cryopreservation (1)-(12). 1; ES culture medium, 2; ES culture medium containing 10% DMSO, 3; ES culture medium + 10% Glycerol, 4; ES culture medium + 5% DMSO, 5; ES culture medium + 5% Glycerol, 6; ES culture medium + 5% DMSO, 5% Glycerol, 7; Cell Freezing Medium-DMSO, 8; Cell Freezing Medium-Glycerol, 9; Cell Banker 1, 10; Cell Banker 1$^+$, 11; Cell Banker 2, 12; Cell Banker 3. The photomicrographs were taken with (A) x 40 and (B) x 100 objectives. The iPS cells were cultured on mitomycin-treated MEF cells for 3 days after inoculation. Scale bar = 500 μm.

また，ヌードマウスの皮下に凍結保存・増殖したiPS 細胞を移植すると，三胚葉系の各種組織を含むテラトーマの形成が確認できた（**Fig 7**）.

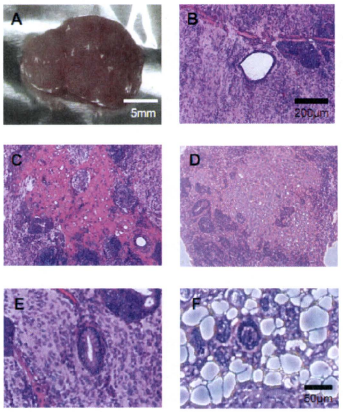


Fig 7: Teratoma formation by iPS cells. Various tissues were present in teratomas derived from iPS cells. (A) Four weeks after the injection, the teratoma was surgically dissected from the mice. (B)-(F) Slides were stained with hematoxylin and eosin. (B) Artery-like structures. (C) Nerve-like structures. (D) Cartilage-like structures. (E) Gut epithelium-like structures. (F) Adipose-like structures.

D. 考察

遺伝子および細胞治療を行う上で重要な鍵となるのは，その治療効果とともに，低侵襲かつ安全性を確保することにある．本研究では，幹細胞および誘導多能性幹細胞を用いて，細胞の品質とその状態などを検討した．特に，今回はウイルスベクターや高分子キャリアを用いずに，臨床現場で使用されているソナゾイド造影剤を用いた超音波照射のみで，ASCs への遺伝子導入が可能であることが確認された．本課題については，今後も，分担研究者とともに，幹細胞への遺伝子導入効率の改善および細胞損傷の低減を行ってゆく．また，本年度は，誘導多能性幹細胞の品質を確保することができたので，今後の研究に利用されることを期待する．

E. 結論

本研究では，幹細胞への超音波遺伝子導入法の検討を行った．ソノポレーション後に，ASCs の約 40%はダメージを受けたが，細胞内への遺伝子の取り込みが確認できた．さらに，幹細胞の中でも，有力な細胞ソースである誘導多能性幹細胞（iPS 細胞）の凍結保存液を検討し，最適な保存液を見出した．

F. 健康危険情報

統括研究報告書に記載

G. 研究発表

1.論文発表

1. **Miyamoto Y**, Noguchi H, Yukawa H, Oishi K, Matsushita K, Iwata H, Hayashi S. Cryopreservation of Induced Pluripotent Stem Cells. Cell Medicine. accept (2011)

2. **Miyamoto Y**, Oishi K, Yukawa H, Noguchi H, Sasaki M, Iwata H, Hayashi S. Cryopreservation of human adipose tissue-derived stem/progenitor cells using the silk protein sericin. Cell Transplantation. accept (2011)

3. **Miyamoto Y**, Ueno H, Hokari R, Yuan W, Kuno S, Kakimoto T, Enosawa S, Negishi Y, Yoshinaka K, Matsumoto Y, Chiba T, Hayashi S. Ultrasound -assisted gene transfer to adipose tissue-derived stem/progenitor cells (ASCs). 10th International Symposium on Therapeutic Ultrasound (AIP Conference Proceedings). in press (2011)

4. **Miyamoto Y**, Teramoto N, Hayashi S, Enosawa S. An improvement in the attaching capability of cryopreserved human hepatocytes by a proteinaceous high molecule, Sericin, in the serum-free solution. Cell Transplantation. 19(6): 701-706; 2010.

5. Yukawa H, Noguchi H, Nakase I, **Miyamoto Y**, Oishi K, Hamajima N, Futaki S, Hayashi S. Transduction of Cell-Penetrating Peptides into Induced Pluripotent Stem Cells. Cell Transplantation. 19(6): 901-909; 2010.

6. Yukawa H, Kagami Y, Watanabe M, Oishi K, **Miyamoto Y**, Okamoto Y, Tokeshi M, Kaji N, Noguchi H, Ono K, Sawada M, Baba Y, Hamajima N, Hayashi S. Quantum dots labeling using octa-arginine peptides for imaging of adipose tissue-derived stem cells. Biomaterials. 31(14): 4094-4103; 2010.

7. Oishi K, Noguchi H, Saito H, Yukawa H, Miyamoto Y, Murase K, Hayashi S. Cell Labeling with a Novel Contrast Agent of Magnetic Resonance Imaging. Cell Transplantation. 19(6): 887-892; 2010.

8. **宮本義孝**, 大石幸一, 湯川博, 野口洋文, 佐々木真宏, 岩田久, 林衆治. ヒト脂肪組織由来幹細胞における細胞凍結保存液の検討. 低温生物工学会誌. 56(1): 55-58; 2010.

2.学会発表

1. **宮本義孝**, 野口洋文, 湯川博, 大石幸一, 岩田久, 林衆治. iPS 細胞(誘導多能性幹細胞)の凍結保存液の検討. 第 37 回日本臓器保存生物医学会学術集会, 2010 年 11 月 19-20 日, 新潟

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
   なし
2. 実用新案登録
   なし
3. その他
   なし

別紙４

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書　籍　名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yamada M, Hamatani T, Akutsu H, Chikazawa N, Kuji N, Yoshimura Y, Umezawa A.	Involvement of a novel preimplantation-specific gene encoding the high mobility group box protein Hmgpi in early embryonic development	Hum Mol Genet	19(3)	480-493	2010
宮本義孝, 腰高由美恵, 湯川博, 野口洋文, 岩田久, 小林護, 加茂功, 桜川宣男, 林衆治	ヒト可溶化羊膜(HSAP)の脂肪組織由来幹細胞への影響	日本再生医療学会雑誌	9 Suppl.	291	2010
宮本義孝, 大石幸一, 湯川博, 野口洋文, 佐々木真宏, 岩田久, 林衆治.	ヒト脂肪組織由来幹細胞における細胞凍結保存液の検討	低温生物工学会誌	56(1)	55-58	2010
Wenji YUAN, Takashi KAKIMOTO, Shuichi KUNO, Yoshitaka MIYAMOTO, Shin ENOSAWA, Takashi MOCHIZUKI, Koji MASUDA, Yoichirou MATSUMOTO, Toshio CHIBA:	Fetal gene therapy: a combination of non-viral vector and ultrasound irradiation	IFMSS2010			2010
Miyamoto Y, Ueno H, Hokari R, Yuan W, Kuno S, Kakimoto T, Enosawa S, Yoshinaka K, Matsumoto Y, Chiba T, Hayashi S	Ultrasound -assisted gene transfer to adipose tissue-derived stem/progenitor cells (ASCs)	10th International Symposium on Therapeutic Ultrasound(ISTU10)			2010
Kakimoto T, Gen B, Kuno S, Hoakri R, Tsuchiya R, Miyamoto Y, Enosawa S, Mochizuki T, Umezawa A, Masuda K, Matsumoto Y, Chiba T	Minimally Invasive Fetal Gene Therapy Using Nonviral Vector by Ultrasound Irradiation	10th International Symposium on Therapeutic Ultrasound(ISTU10)			2010

Haraguchi Y, Sekine W, Shimizu T, Yamato M, Miyoshi S, Umezawa A, Okano T.	Development of a new assay system for evaluating the permeability of various substances through three-dimensional tissue.	Tissue Eng Part C Methods	16(4)	685692	2010
A. Okamotol, R. Tachibanal, K. Yoshinaka2, K. Osada3, S. Takagi 1, K. Kataoka2, 3, U. Chung2, and Y. Matsumoto	A Study of Micro-bubble Enhanced Ultrasound Gene Induction	IFMBE Proceedings	Vol. 31	1117-1120	2010
岡本 旭生, 橘 理恵, 葭仲 潔, 長田 健介, 高木 周, 片岡 一則, 鄭 雄一, 松本 洋一郎	マイクロバブルを援用した超音波遺伝子導入法の高効率化	キャビテーションに関するシンポジウム（第15回）	A1-3	1-4	2010
桝田晃司, 中元隆介, 渡會展之	「超音波による生体内マイクロカプセルの動態制御」非破壊検査	非破壊検査	59(11)	562-566	2010
Kohji Masuda, Nobuyuki Watarai, Ryusuke Nakamoto, and Yusuke Muramatsu	Production of local acoustic radiation force to constrain direction of microcapsules in flow	Japanese Journal of Applied Physics	49	07HF11	2010
村松悠佑, 桝田晃司	模擬血管中を流れるマイクロカプセルに対する音響放射力とその影響	超音波テクノ	22(1)	105-109	2010
Ryusuke Nakamoto, Nobuyuki Watarai, Ren Koda, Kohji Masuda, Teruyuki Kozuka, Yoshitaka Miyamoto and Toshio Chiba	Effect of the existence of red blood cell in trapping performance of microbubbles by acoustic radiation force	Proc. of the 31st Symposium on Ultrasonic Electronics	2010	383-384	2010
Ren Koda, Nobuyuki Watarai, Ryusuke Nakamoto, Nobuhiko Shigehara, Taku Ohta and Kohji Masuda	Observation of aggregation forming of microcapsules undervarious conditions of ultrasound emission	Proc. of the 31st Symposium on Ultrasonic Electronics	2010	387-388	2010

Kohji Masuda, Ren Koda, Nobuyuki Watarai, Ryusuke Nakamoto, Yoshitaka Miyamoto and Toshio Chiba	Attempt for active control of microbubbles in blood flow by forming local acoustic field	Proc. of 9th Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology	2010	90	2010
Kohji Masuda, Nobuyuki Watarai, Ryusuke Nakamoto, Yoshitaka Miyamoto, Keri Kim and Toshio Chiba	Study to prevent the Density of Microcapsules from diffusing in Blood Vessel by Local Acoustic Radiation Force	Proc. of 32nd Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBS)	2010	402-405	2010
桝田晃司, 中元隆介, 江田廉, 渡會展之, 宮本義孝, 千葉敏雄	凝集体形成を利用した微小気泡の生体内超音波制御法の検討	日本超音波医学会第22回関東甲信越地方会学術集会抄録集	2010	60	2010
渡會展之, 江田廉, 中元隆介, 桝田晃司, 宮本義孝, 千葉敏雄	血管分岐部での凝集体形成によるマイクロカプセルの流路選択性向上のための実験的検討	日本超音波医学会 第83回学術集会論文集	37	S338	2010
Yazawa T, Kawabe S, Inaoka Y, Okada R, Mizutani T, Imamichi Y, Ju Y, Yamazaki Y, Usami Y, Kuribayashi M, Umezawa A, Miyamoto K.	Differentiation of mesenchymal stem cells and embryonic stem cells into steroidogenic cells using steroidogenic factor-1 and liver receptor homolog-1.	Mol Cell Endocrinol	336(1-2)	127-132	2011
Inamura M, Kawabata K, Takayama K, Tashiro K, Sakurai F, Katayama K, Toyoda M, Akutsu H, Miyagawa Y, Okita H, Kiyokawa N, Umezawa A, Hayakawa T, Furue MK, Mizuguchi H.	Efficient generation of hepatoblasts from human ES cells and iPS cells by transient overexpression of homeobox gene HEX.	Mol Ther	19(2)	400-407	2011
Okamoto A., Tachibana R., Yoshinaka K., Takagi S., Kataoka K., Matsumoto Y	A study of micro-bubble enhanced sonoporation	10th International Symposium on Therapeutic Ultrasound (AIP Conference Proceedings)			In press (2011)

D2-4

Minimally invasive fetal gene therapy using nonviral vector by ultrasound irradiation.

Kakimoto T.*, Yuan W., Kuno S., Hokari R. (National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan), Miyamoto Y. (Nagoya University, Nagoya, Japan), Enosawa S. (National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan), Mochizuki T. (ALOKA, Co., Ltd, Tokyo, Japan), Masuda K. (Tokyo Univ. of A&T, Tokyo, Japan), Matsumoto Y. (The University of Tokyo, Tokyo, Japan), Chiba T. (National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan)

Recent advances in prenatal diagnosis of genetic disease, fetoscopic technique, and fetal transplantation no longer pose significant technical hurdles for in utero clinical tests and have widened the door for minimally invasive delivery of therapeutic agents using ultrasound energy. In treating inborn errors of metabolism, two possible strategies, graft treatment and gene therapy, should be considered at the moment. Both procedures, however, have major disadvantages; relative lack of graft donors and inadvertent side effects associated with the use of virus vectors. Furthermore, if we miss the most effective timing of these procedures, an expensive and long-term treatment is likely to follow. Hence, we aim, in this research, at gene therapy using nonviral vector based on ultrasonic microbubble cavitations for inborn errors of metabolism treatment.
In our experiment, "Sonitron" gene transfection system (NEPAGENE Co.) was used for intracellular gene introduction in the liver. A test solution (5μl) consisting of nonviral vector (pEGF plasmid of 5 μgrms), microbubbles (25% in concentration) and saline solution was prepared. Then, laparotomy was performed on pregnant mice to inject the fetal liver with the solution. Immediately after, the injected microbubbles were destroyed by ultrasound irradiation creating microjet stream which allowed the target gene to be introduced intracellularly. Twenty-four hours later, the fetal liver was excised and the hepatic GFP expression was assessed using fluorescent microscope. In our experiment, the GFP fluorescence was definitely demonstrated in the fetal liver. On the other hand, the liver that had undergone an injection of the solution only without additional ultrasonic irradiation did not show any GFP expression. This outcome hopefully validates our goal that fetal gene transfection could be successfully achieved when ultrasound energy was co-irradiated.
Our preliminary results suggest that an assessment of the system feasibility might be the next step using fetal mice having inborn errors of metabolism.

D2-5

Time-reversal techniques in ultrasound-assisted convection-enhanced drug delivery to the brain: technology development and in vivo evaluation

Lewis G.* (Cornell University, Ithaca, USA), Fillinger L. (Artann Laboratories, West Trenton, USA), Lewis G.Sr. (Transducer Engineering, Andover, USA), Olbricht W. (Cornell University, Ithaca, USA), Sarvazyan A. (Artann Laboratories, West Trenton, USA)

We describe a drug delivery method that combines time-reversal acoustics (TRA) with convection-enhanced delivery (CED) to improve the delivery of chemotherapeutics. CED has been used to treat a variety of neural disorders, including glioblastoma multiform, a malignancy that presents a very poor prognosis for patients. Preclinical and clinical trials have shown that the technical challenges in CED are to increase the penetration of drug into the tissue surrounding the cannula and control the spatial distribution of infused compounds.

Using a novel transducer-cannula assembly we infuse fluids into the rodent brain while simultaneously exposing the tissue to safe level of 1-MHz, low intensity, plane-wave ultrasound. Results show that exposure of the brain to ultrasound increases the distribution volume of infused compounds by 4-8x without significant damage to the treated tissue. Ultrasound-assisted CED (UCED) is believed to increase the tissue permeability, reduce mass-transfer resistance at the cannula-tissue interface, and enhance convection.

Although plane-wave UCED increases the penetration of tracers into tissues, it does little to control the spatial distribution of the infused material. To provide necessary spatial control, we are developing a system to implement time-reversal acoustics (TRA) in CED. The system includes a combined infusion needle-hydrophone, a 10-channel ultralow-output impedance amplifier, a broad-band ultrasound resonator, and MatLab-based TRA control and user interface. The tip of the infusion needle acts as a TRA beacon which allows accurate focusing of the ultrasound through the skull to the site where the drug is injected without complex phase-correction and array design. The smart targeting UCED system has been tested in vitro with brain-mimicking phantoms providing 1-mm spatial resolution. Results involving the use of the system in vivo will be described.

P2-29

Ultrasound -assisted gene transfer to adipose tissue-derived stem/progenitor cells (ASCs)

Miyamoto Y.* (Nagoya University, Nagoya, Japan), Ueno H., Hokari R., Yuan W., Kuno S., Kakimoto T. (National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan), Enosawa S. (National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan), Yoshinaka K., Matsumoto Y. (The University of Tokyo, Tokyo, Japan), Chiba T. (National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan), Hayashi S. (Nagoya University, Nagoya, Japan)

In recent years, multilineage adipose tissue-derived stem cells (ASCs) have become increasingly expected as a promising source for cell transplantation as well as regenerative medicine. It is especially becoming likely to make tissue stem cells such as ASCs and marrow stromal cells (MSCs) differentiate by gene transfection. Gene transfection using highly efficient viral vectors such as adeno- and Sendai viruses have been preferably adopted for this purpose. Meanwhile, sonoporation, a sort of ultrasound (US) -assisted gene transfer is a gene manipulation technique which employs creation of jet stream by ultrasonic microbubble cavitation. The sonoporation using non-viral vectors has been expected much safer, although less efficient, tool for prospective clinical gene therapy. In this report, we assessed the efficacy of sonoporation technique for gene transfer to ASCs.
We isolated and cultured adipocyets from mouse adipose tissue. ASCs that potentially differentiate with transformation to adipocytes or osteoblasts were obtained. Using the US -assisted system, plasmid DNA containing beta-galactosidase (beta-Gal) and green fluorescent protein (GFP) genes were transferred to the ASCs. For this purpose, Sonitron 4000 (NEPAGENE Co.) and Sonazoid (Daiichi Sankyo Co.) were used in combination. ASCs were irradiated with US (3.1 MHz, duty 50%, burst rate 2.0 Hz, duration 15-120 sec.) of different intensities (approximately 1.2 W/cm2). The gene was more efficiently transferred with increased concentrations of plasmid DNA (5-100 μg/mL). However, further optimization of the US parameters should be required as the gene transfer efficiency was not high enough. In conclusion, it was shown that gene could be transferred to ASCs using our US - assisted system. In regenerative medicine, this system might hopefully work better replacing current procedures in terms of safety, but not efficiency.

P2-30

Ultrasound lithotripsy for pet kidney stones

Yoshizawa S.*, Iida K. (Tohoku University, Sendai, Japan), Wada A., Matsuura T., Ishii H. (Tokyo Animal Medical Center, Tokyo, Japan), Umemura S. (Tohoku University, Sendai, Japan), Matsumoto Y. (The University of Tokyo, Tokyo, Japan)

It has been investigated that cavitating microbubbles can erode kidney stones. In this study, collapse of cloud cavitation by High Intensity Focused Ultrasound (HIFU) is used to fragment kidney stones. Cloud cavitation is potentially the most destructive form of cavitation. When the cloud cavitation is acoustically forced into a collapse, it has the potential to concentrate a very high pressure.
For the control of the cloud cavitation collapse, a two-frequency wave was used; an ultrasound pulse at a frequency of 3.4 MHz to create the cloud cavitation and a trailing pulse at a frequency of 1.1 MHz following the high-frequency pulse to force the cloud into collapse. An air-backed ultrasound transducer consisting of a spherical PZT ceramic element was placed in a water tank and the two-frequency ultrasound was focused to struvite stones extracted from pets. Both diameter and focal length of the PZT element were 72 mm. The duration time of the high-frequency and low-frequency ultrasound was 30 us and 5 us, respectively. The pulse repetition frequency of the two-frequency ultrasound was 20 Hz. The stones were dipped in degassed water more than 24 hours before the experiment.
The struvite stones were eroded and most of the resulting fragments were much less than 1 mm in diameter. The method has the potential to provide a novel lithotripsy system with small fragments which would be applicable to pets as well as human.

Molecular and Cellular Endocrinology 336 (2011) 127–132

Contents lists available at ScienceDirect

Molecular and Cellular Endocrinology

journal homepage: www.elsevier.com/locate/mce

Differentiation of mesenchymal stem cells and embryonic stem cells into steroidogenic cells using steroidogenic factor-1 and liver receptor homolog-1☆

Takashi Yazawa[a,*], Shinya Kawabe[a], Yoshihiko Inaoka[a], Reiko Okada[a], Tetsuya Mizutani[a], Yoshitaka Imamichi[a], Yunfeng Ju[a], Yukiko Yamazaki[a], Yoko Usami[a], Mayu Kuribayashi[a], Akihiro Umezawa[b], Kaoru Miyamoto[a]

[a] Department of Biochemistry, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui, Shimoaizuki 23, Matsuoka, Eiheiji-cho, Fukui 910-1193, Japan
[b] National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo 157-8535, Japan

ARTICLE INFO

Article history:
Received 31 August 2010
Received in revised form
23 November 2010
Accepted 23 November 2010

Keywords:
Steroidogenic factor-1
Liver receptor homolog-1
Steroid hormone
Stem cells

ABSTRACT

Previously, we have demonstrated that mesenchymal stem cells could be differentiated into steroidogenic cells through steroidogenic factor-1 and 8bromo-cAMP treatment. Use of liver receptor homolog-1, another of the nuclear receptor 5A family nuclear receptors, with 8bromo-cAMP also resulted in the differentiation of human mesenchymal stem cells into steroid hormone-producing cells. The same approaches could not be applied to other undifferentiated cells such as embryonic stem cells or embryonal carcinoma cells, because the over-expression of the nuclear receptor 5A family is cytotoxic to these cells. We established embryonic stem cells carrying tetracycline-regulated steroidogenic factor-1 gene at the *ROSA26* locus. The embryonic stem cells were first differentiated into a mesenchymal cell lineage by culturing on collagen IV-coated dishes and treating with pulse exposures of retinoic acid before expression of steroidogenic factor-1. Although the untreated embryonic stem cells could not be converted into steroidogenic cells by expression of steroidogenic factor-1 in the absence of leukemia inhibitory factor due to inability of the cells to survive, the differentiated cells could be successfully converted into steroidogenic cells when expression of steroidogenic factor-1 was induced. They exhibited characteristics of adrenocortical-like cells and produced a large amount of corticosterone. These results indicated that pluripotent stem cells could be differentiated into steroidogenic cells by the nuclear receptor 5A family of protein *via* the mesenchymal cell lineage. This approach may provide a source of cells for future gene therapy for diseases caused by steroidogenesis deficiencies.

1. Introduction

Steroidogenic factor-1 (SF-1), also known as Ad4BP, and liver receptor homolog-1 (LRH-1) belong to the NR5A subfamily of nuclear receptors (Krylova et al., 2005). SF-1 is essential for adrenal and gonadal development, and SF-1 knockout mice exhibit adrenal and gonadal agenesis and impaired gonadotropin expression, resulting in postnatal death due to severe adrenal insufficiency (Luo et al., 1994; Sadovsky et al., 1995). SF-1 is expressed in the adrenal cortex, testicular Leydig and Sertoli cells, ovarian theca and granulosa cells, pituitary gonadotropes and hypothalamus (Parker and Schimmer, 1997; Morohashi, 1999; Schimmer and White, 2010). It regulates the cell-specific expression of a variety of different genes involved in steroidogenesis, including a number of steroid hydroxylases (Lala et al., 1992; Morohashi et al., 1992). With the aid of cAMP, it can induce the differentiation of bone marrow-derived mesenchymal stem cells (MSCs) into steroidogenic cells such as testicular Leydig cells and adrenocortical cells (Yazawa et al., 2006, 2008). However, the same approaches were inappropriate for other undifferentiated cells such as embryonic stem (ES) cells or embryonal carcinomas, because they barely survived after expression of SF-1. LRH-1 is mainly expressed in tissues of endodermal origin in adults (Fayard et al., 2004; Lee and Moore, 2008). Recently, elevated expression of LRH-1 has been demonstrated in gonads, suggesting the involvement of LRH-1 in steroidogenesis (Volle et al., 2007; Duggavathi et al., 2008).

In this study, we showed the differentiation of steroidogenic cells from MSCs and ES cells by SF-1 and LRH-1. Treatment with LRH-1 and 8br-cAMP resulted in the differentiation of human MSCs (hMSCs) into steroidogenic cells, with similar results exhibited using SF-1. This method could not be applied to ES cells. In this

Abbreviations: SF-1, steroidogenic factor-1; LRH-1, liver receptor homolog-1; MSC, mesenchymal stem cell; ES cells, embryonic stem cells; Tc, tetracycline; RA, retinoic acid; Gapdh, glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase.

☆ This work was supported in part by a grant from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan, and the Smoking Research Foundation.

* Corresponding author. Tel.: +81 776 61 8316; fax: +81 776 61 8102.
E-mail address: yazawa@u-fukui.ac.jp (T. Yazawa).

0303-7207/$ – see front matter © 2010 Elsevier Ireland Ltd. All rights reserved.
doi:10.1016/j.mce.2010.11.025

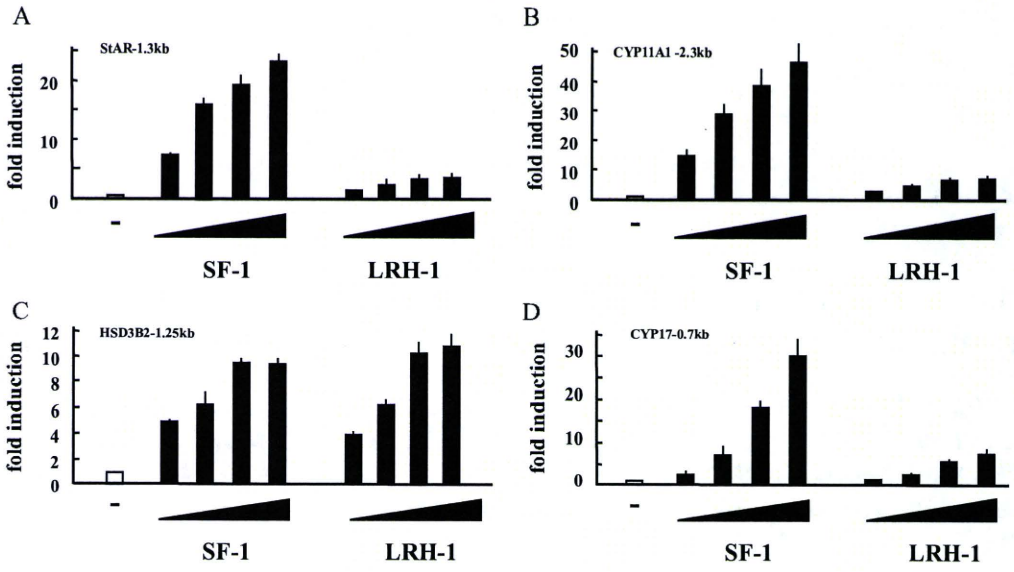


Fig. 1. Activation of the promoter activities of steroidogenic genes by SF-1 and LRH-1 (0, 1.25, 2.5, 5 ng). HEK293 cells were transiently transfected with each reporter and with 0, 1.25, 2.5, 5 ng of expression vector as indicated. Luciferase activities were measured after 48 h and relative activities are shown. Data are expressed as the mean ± SEM of at least four independent experiments.

study we developed a method for differentiation of ES cells into steroidogenic cells using a tetracycline (Tc)-regulated gene expression system for SF-1 (Masui et al., 2005).

2. Materials and methods

2.1. Cell culture, transfection and luciferase assays

The hMSCs (Okamoto et al., 2002; Mori et al., 2005), HEK293 and Phoenix cells were cultured in DMEM with 10% fetal calf serum (FCS). HEK293 cells were transfected using Lipofectamine plus (Invitrogen, Carlsbad, CA, USA). Luciferase assays were performed as described previously (Yazawa et al., 2003). Each data point represents the mean of at least four independent experiments. The murine ES cells, EBRTcH3, were cultured as described before (Masui et al., 2005). Briefly, they were cultured in the absence of feeder cells in Glasgow minimal essential medium (GMEM; Sigma–Aldrich; St. Louis, MO, USA) supplemented with 10% FCS, 1 mM sodium pyruvate (Invitrogen), 10^{-4} M 2-mercaptoethanol (Nacalai Tesque; Kyoto, Japan), 1× nonessential amino acids (Invitrogen) and 1000 U/ml of leukemia inhibitory factor (LIF) on gelatin-coated dishes. Culture methods for the induction of MSCs have been described elsewhere (Takashima et al., 2007). Culture media were collected for the measurement of steroid hormone production by enzyme-linked immunosorbent (ELISA) assays (Cayman Chemical Co., Ann Arbor, MI, USA) as described previously (Yazawa et al., 2008, 2009, 2010).

2.2. Plasmids

The pGL2-StAR1.3kb vector was kindly provided by Dr. Teruo Sugawara (Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan). To introduce the *SF-1* gene into *ROSA-TET* locus, the exchange vector was created by the insertion of the *XhoI-NotI* fragment of human SF-1 cDNA into pPthC (Masui et al., 2005), which had been cleaved by *XhoI–NotI*. Exchange vector is necessary for introduction of genes of interest into mouse genomic *ROSA-TET* locus by homologous recombination. The pCAGGS-Cre plasmid has been described elsewhere (Araki et al., 1997). Each vector containing the entire coding region for SF-1 and LRH-1 was generated by RT-PCR and subcloned into pQCXIP (Clontech, Palo Alto, CA, supplied by Takara Bio Inc., Shiga, Japan). The other vectors have been described before (Yazawa et al., 2009, 2010).

2.3. RT-PCR

Total RNA from the cultured cells was extracted using Trizol reagent (Invitrogen). RT-PCR was performed as described previously (Yazawa et al., 2006). The RT-PCR products were subjected to electrophoresis on 1.5% (w/v) agarose gels, and the resulting bands were visualized by staining with ethidium bromide. The primers used have been described previously (Yazawa et al., 2006, 2009; Takashima et al., 2007).

2.4. Retrovirus preparation and infection

The Phoenix packaging cell line was transiently transfected with the retroviral plasmids using the Lipofectamine Plus reagent (Invitrogen). The supernatant was concentrated by centrifugation and the virus solution stored at −80 °C until required. MSCs were infected with the retrovirus in the presence of 8 μg/ml polybrene (Sigma) for 48 h. The cells were then replated and selected using puromycin.

2.5. Exchange reaction of the Tc-regulated unit

EBRTcH3 cells were seeded onto gelatin-coated 6-well plates in medium containing 1 μg/ml Tc (Tc^+ medium; Sigma–Aldrich). The circular plasmid DNA of the exchange vector, pCAGGS-Cre and Lipofectamine 2000 (Invitrogen) was separately mixed with GMEM and combined to make the transfection mixture. This was added and incubated for 3–5 h, and then re-plated onto 10 cm dishes containing Tc^+ medium. After two days, the medium was changed to Tc^+ medium with 1.5 μg/ml puromycin (Sigma).

2.6. Western blot analysis

The extraction of protein from cultured cells and subsequent quantification was performed as described previously (Yazawa et al., 2003, 2008). Equal amounts of protein (50 μg) were analyzed by 10% SDS-PAGE and transferred to polyvinylidene difluoride membranes. Western blot analyses of SF-1 and glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase (GAPDH) were carried out with antiserum directed against Ad4BP (kindly provided by Dr. Ken-ichirou Morohashi, University of Kyushu, Fukuoka, Japan) and GAPDH (6C5; Santa Cruz Biotechnology, Santa Cruz, CA). ECL Western blot reagents (Amersham Pharmacia Biotech, Piscataway, NJ) were used to visualize protein bands.

3. Results

3.1. Differentiation of MSCs into steroidogenic cells using SF-1 and LRH-1

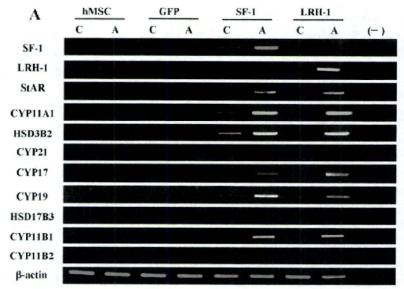
We investigated the effects of SF-1 and LRH-1 on activation of steroidogenesis-related gene promoters in HEK293 cells (Fig. 1). Consistent with many previous reports, SF-1 activated the promoters of steroidogenesis-related genes, such as StAR, CYP11A1, HSD3B2 and CYP17, in a dose-dependent manner. LRH-1 could also activate these promoters, although the extent was much lower than that of SF-1 except in the case of HSD3B2.

To examine abilities of SF-1 and LRH-1 to induce the differentiation of hMSCs into steroidogenic cells, hMSCs were transduced with SF-1 or LRH-1 by retrovirus-mediated transfection. Trans-

duction of SF-1 into hMSCs induced expression of the type II 3β-hydroxysteroid dehydrogenase (HSD3B2) gene (Fig. 2A), with these cells also producing progesterone (Fig. 2B). As we reported previously (Yazawa et al., 2006), 8br-cAMP treatment further induced various steroidogenic enzymes. Concomitantly, 8br-cAMP treatment markedly increased the production of progesterone. Similar results were obtained in LRH-1-transduced hMSCs. Expression of SF-1 was never induced in LRH-1-transduced cells, and *vice versa*. These results demonstrate that LRH-1 had similar potential as SF-1 for the induction of MSC differentiation into steroidogenic cells.

3.2. *Differentiation of ES cells into steroidogenic cells using tetracycline*

Our studies clearly indicate that the NR5A family can direct the differentiation of stem cells into steroidogenic cells. However, this approach was not appropriate for pluripotent stem cells such as ES cells (Yazawa et al., 2006), as they barely survive the expression of the NR5A family in the absence of LIF. To circumvent these problems, we used the ES cell line EBRTcH3, carrying a Tc-repressible transgene at the *ROSA26* locus (Masui et al., 2005). The SF-1 cDNA along with a gene encoding the yellow fluorescent protein, Venus, was integrated into the *ROSA-TET* locus by a knock-in method, and puromycin resistant clones were selected (Fig. 3A). Induction of the genes from the *ROSA-TET* locus was checked by RT-PCR and fluorescence of the reporter protein, Venus. Withdrawal of Tc from the culture medium resulted in the induction of Venus fluorescence in virtually all cells within 48 h (Fig. 3B), whereas no fluorescence was detected in cells cultured in the presence of Tc. Although SF-1 mRNA and proteins were also induced in ES cells in



B

Cells	8BrcAMP(-)	8BrcAMP(+) (fm/cell/hour)
GFP-hMSC	N.D.	N.D.
SF-1-hMSC	0.04±0.01	1.17±0.26
LRH-1-hMSC	0.07±0.02	1.31±0.17

Fig. 2. Differentiation of human BM-MSCs into steroidogenic cells by SF-1 and LRH-1. (A) RT-PCR analysis of each gene in each clone cultured with (lane A) or without (lane C) 8-br-cAMP for two days. (B) Production of progesterone by BM-MSCs stably expressing GFP, SF-1 or LRH-1 in the presence (+) or absence (−) of 8br-cAMP (1 mM). Means and SEM values of at least three independent experiments. N.D. indicates no detectable values.

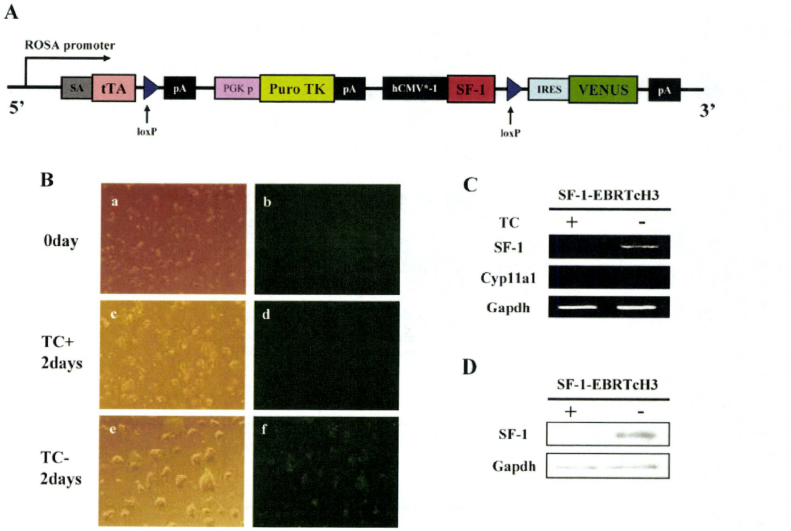


Fig. 3. Induction of SF-1 expression in the *ROSA-TET* system. (A) Schematic representation of the *ROSA-TET* locus exchanged with the SF-1-expression cassette in EBRTcH3 cells. (B) Induction of Venus fluorescence. Cells were observed before (panels a and b) or 48 h after induction (panels c–f) cultured with or without Tc. Bright field (panels a, c and e) and fluorescence images (panels b, d and f) are presented. (C and D) Induction of SF-1 expression in SF-1-EBRTcH3 cells. The mRNA (C) and protein (D) samples were prepared 48 h after the removal of Tc.

the absence of Tc, the cells were maintained in the undifferentiated state and never expressed any steroidogenic marker genes, including Cyp11a1 (Fig. 3Cand D). On the other hand, ES cells ceased to proliferate and died after several days when LIF was removed from culture medium. These results were in agreement with our previous observations in which steroidogenic cells could not be induced directly from ES cells (Yazawa et al., 2006).

We induced the expression of SF-1 after differentiation of the ES cells into MSCs. For differentiation of ES cells into MSCs, they were cultured on collagen IV-coated dishes and treated with pulse exposures to RA as described by Nishikawa and colleagues (Takashima et al., 2007) (Fig. 4A). Consistent with previous reports, molecular markers of the mesenchymal cell lineage such as PDGFRα, PDGFRβ and OB-CAD were robustly induced by RA treatment (Fig. 4B), indicating that the ES cells were successfully differentiated into mesenchymal cells. The cells were further cultured in the absence of RA and Tc for three days. In contrast to undifferentiated ES cells, the differentiated cells were able to survive following SF-1 expression in the absence of LIF.

As shown in Fig. 5A, expression of SF-1 in the differentiated cells resulted in the expression of various steroidogenesis-related genes, such as Cyp11a1, Hsd3b1, Cyp17, Cyp21 Cyp11b1 and Acthr. The gene expression pattern was quite similar to that in adrenocortical cells, especially fasciculata cells. Consistent with the gene expression profile, corticosterone was the most secreted steroid hormone from these cells (Fig. 5B), with Cyp17 expression barely detectable in the adult murine adrenal gland. Cortisol was also produced in these cells, although it was markedly lesser than corticosterone. These results indicate that ES cells could also be differentiated into steroidogenic cells by SF-1 *via* the mesenchymal cell lineage.

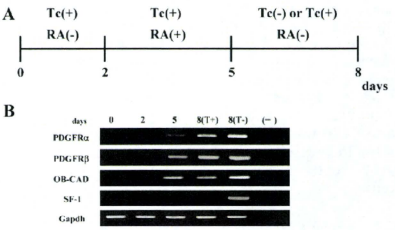
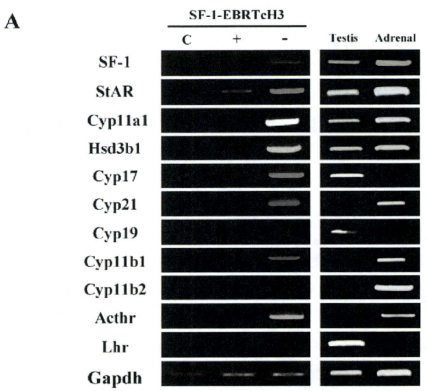


Fig. 4. Protocols for inducing steroidogenic cells from ES cells *via* the differentiation of ES cells into MSCs. Cells were cultured on collagen IV-coated dishes with differentiation medium containing Tc, with 10^{-7} M RA added to the medium from days 2 to 5. The medium was replaced with a RA- and Tc-free medium on day five. (B) RT-PCR analysis of marker genes for the MSC lineage and SF-1 genes at each time point.

4. Discussion

SF-1 has been clearly demonstrated to be a master regulator of steroidogenic organs. SF-1 knockout mice show agenesis of the primary steroidogenic organs, including the adrenal glands and gonads (Parker and Schimmer, 1997; Morohashi, 1999). SF-1 can induce the differentiation of MSCs into steroidogenic cells (Yazawa et al., 2006, 2008). In this study, we demonstrated that LRH-1 also has the capability to differentiate MSCs into steroidogenic cells. Consistent with our results, it has been reported that LRH-1 and SF-



B

Cells (Tet 1μg/ml)	progesterone	testosterone	estradiol	corticosterone	aldosterone	(ng/ml)
SF-1-EBRTcH3(+)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	
SF-1-EBRTcH3-MSCs(+)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	
SF-1-EBRTcH3-MSCs(-)	638.2±65.98	65.1±5.33	0.05±0.04	896.7±90.25	12.4±2.19	

1. N.D. means for no detectable values.
2. Data are means and SEM values of at least two independent experiments.

Fig. 5. Differentiation of ES cells into adrenocortical-like cells. (A) RT-PCR analysis of each gene in SF-1 induced (−) and uninduced (+) cells. Testis and adrenal represent a testis and an adrenal gland from an adult mouse. (B) Production of steroid hormones by each treatment. Means and SEM values of at least two independent experiments. N.D. means no detectable values.

1 could play similar roles in steroidogenesis in certain cells (Wang et al., 2001; Saxena et al., 2007; Yazawa et al., 2010). On the other hand, differentiated cells such as HEK293 cells stably transformed with SF-1 or LRH-1 did not express steroidogenic enzymes nor did they produce steroid hormones, suggesting that the expression of these genes in situ are controlled by additional factors.

LRH-1 is abundantly expressed in ES cells and is necessary for Oct-3/4 expression (an essential gene for maintenance of the inner cell mass and pluripotency of ES cells) at the epiblast stage (Gu et al., 2005). In addition, Oct-3/4 can be replaced by LRH-1 for the reprogramming of murine somatic cells into induced pluripotent stem (iPS) cells (Heng et al., 2010). As the differentiation of MSCs into steroidogenic cells, SF-1 and LRH-1 have similar potential for the regulation of Oct-3/4 expression (Barnea and Bergman, 2000; Gu et al., 2005), and therefore the same potential for induction of somatic cells into iPS cells (Heng et al., 2010). Niwa et al. (2000) demonstrated that quantitative expression of Oct-3/4 defines the fate of ES cells. A less than twofold increase in Oct-3/4 expression causes differentiation of ES cells into primitive endoderm and mesoderm, whereas repression of Oct-3/4 expression induces loss of pluripotency and causes de-differentiation of cells into the trophectoderm. It has been shown that DAX-1, a common transcriptional inhibitor of Oct-3/4, SF-1 and LRH-1 are also important for the pluripotency and survival of ES cells (Yu et al., 1998; Sun et al., 2009; Khalfallah et al., 2009). DAX-1 expression is detectable in ES cells and its expression is reduced upon differentiation of the cells into each germ layer. DAX-1 knockdown induces loss of pluripotency even under culture conditions for maintaining the undifferentiated state (Sun et al., 2009; Khalfallah et al., 2009), whereas complete deletion of DAX-1 by gene targeting results in cell death (Yu et al., 1998). Over-expression of the NR5A family was also cytotoxic to ES cells. These facts strongly suggest that regulated and coordinated expression of NR5A genes is essential for the pluripotency and survival of ES cells. These properties of the NR5A family are likely to cause difficulties in the induction of steroidogenic cells by NR5A members directly from ES cells.

In a previous study (Crawford et al., 1997), stable expression of SF-1 was shown to direct ES cells towards the steroidogenic lineage. However, the steroidogenic capacity of the cells was limited since a membrane-permeable substrate, 20α-hydroxycholesterol, was necessary to produce progesterone, the only steroid produced from the cells (Crawford et al., 1997). We demonstrated that regulated expression of SF-1 by the *ROSA-TET* system made it possible to derive steroidogenic cells from ES cells, with a capacity for autonomously secreting various steroid hormones.

It was reported that ES cells cultured on collagen-IV coated plates and treated with RA undergo differentiation into the mesenchymal cell lineage including MSCs, and that steroidogenic cells could be induced by SF-1 from MSCs (Takashima et al., 2007; Yazawa et al., 2006, 2008). Although we did not fully characterize the differentiated cells derived from the ES cells by RA treatment in this study, it is conceivable that the ES cell-derived steroidogenic cells must be produced *via* multipotent MSCs. Steroidogenic cells could be induced by SF-1 from MSCs, but not from differentiated cells such as fibroblasts, preadipocytes and HEK293 cells (Yazawa et al., 2006; Yanase et al., 2006). In support of this hypothesis, the ES cells could not be converted into steroidogenic cells *via* Tc-induced expression of SF-1 under culture conditions that induced differentiation of ES cells into preadipocytes, which also expressed PDGFRα as MSCs (data not shown). However, the exact origin of ES cell-derived steroidogenic cells should further investigated.

The ES cells-derived steroidogenic cells exhibited the very similar gene expression patterns to that of adrenocortical cells and produced a large amount of corticosterone, despite with Cyp17 expression was detectable. As in the case of other steroid hydroxylases, it is well-known that the expression of the CYP17/Cyp17 gene is regulated by SF-1 and LRH-1 (Zhang and Mellon, 1996; Lin et al., 2001; Yazawa et al., 2009). Hence, it is conceivable that the human CYP17 gene is expressed in both in gonadal and adrenal steroidogenic cells. In contrast, the murine Cyp17 gene is expressed only in gonadal cells in adults. However, it was shown that Cyp17 is expressed in the murine fetal adrenal gland (Heikkilä et al., 2002). Therefore, it is possible that steroidogenic cells derived from murine ES cells might reflect the fetal adrenal phenotype. Further studies are necessary for the determination of steroidogenic lineage and the regulation of Cyp17 expression.

In summary, we have shown that, as in the case of SF-1, LRH-1 could drive the differentiation of MSCs into steroidogenic cells. In addition, ES cells could also be differentiated into steroidogenic cells through the regulated expression of SF-1 using the *ROSA-TET* system. This approach might also provide the opportunity, through the use of MSCs, for the development of cell and gene therapy treatments in steroidogenesis deficiencies. Additionally, this approach could be a powerful tool for studies on the differentiation of steroidogenic cell lineages.

Acknowledgments

We are grateful to Drs. K. Morohashi (University of Kyushu), T. Sugawara (University of Hokkaido), H. Niwa (Riken, BRC) and K. Araki (University of Kumamoto) for providing reagents. We also thank Ms. Y. Inoue, K. Matsuura and H. Fujii for technical assistance.

References

Araki, K., Imaizumi, T., Okuyama, K., Oike, Y., Yamamura, K., 1997. Efficiency of recombination by Cre transient expression in embryonic stem cells: comparison of various promoters. J. Biochem. 122, 977–982.
Barnea, E., Bergman, Y., 2000. Synergy of SF1 and RAR in activation of Oct-3/4 promoter. J. Biol. Chem. 275, 6608–6619.
Crawford, P.A., Sadovsky, Y., Milbrandt, J., 1997. Nuclear receptor steroidogenic factor 1 directs embryonic stem cells toward the steroidogenic lineage. Mol. Cell Biol. 17, 3997–4006.
Duggavathi, R., Volle, D.H., Mataki, C., Antal, M.C., Messaddeq, N., Auwerx, J., Murphy, B.D., Schoonjans, K., 2008. Liver receptor homolog 1 is essential for ovulation. Genes Dev. 22, 1871–1876.
Fayard, E., Auwerx, J., Schoonjans, K., 2004. LRH-1: an orphan nuclear receptor involved in development, metabolism and steroidogenesis. Trends Cell Biol. 4, 23–34.
Gu, P., Goodwin, B., Chung, A.C., Xu, X., Wheeler, D.A., Price, R.R., Galardi, C., Peng, L., Latour, A.M., Koller, B.H., Gossen, J., Kliewer, S.A., Cooney, A.J., 2005. Orphan nuclear receptor LRH-1 is required to maintain Oct4 expression at the epiblast stage of embryonic development. Mol. Cell Biol. 25, 3492–3505.
Heikkilä, M., Peltoketo, H., Leppäluoto, J., Ilves, M., Vuolteenaho, O., 2002. S.S.V. Wnt-4 deficiency alters mouse adrenal cortex function, reducing aldosterone production. Endocrinology 143, 4358–4365.
Heng, J.C., Feng, B., Han, J., Jiang, J., Kraus, P., Ng, J.H., Orlov, Y.L., Huss, M., Yang, L., Lufkin, T., Lim, B., Ng, H., 2010. The nuclear receptor Nr5a2 can replace Oct4 in the reprogramming of murine somatic cells to pluripotent cells. Cell Stem Cell 5, 167–174.
Khalfallah, O., Rouleau, M., Barbry, P., Bardoni, B., Lalli, E., 2009. Dax-1 knockdown in mouse embryonic stem cells induces loss of pluripotency and multilineage differentiation. Stem Cell 27, 1529–1537.
Krylova, I.N., Sablin, E.P., Moore, J., Xu, R.X., Waitt, G.M., MacKay, J.A., Juzumiene, D., Bynum, J.M., Madauss, K., Montana, V., Lebedeva, L., Suzawa, M., Williams, J.D., Williams, S.P., Guy, R.K., Thornton, J.W., Fletterick, R.J., Willson, T.M., Ingraham, H.A., 2005. Structural analyses reveal phosphatidyl inositols as ligands for the NR5 orphan receptors SF-1 and LRH-1. Cell 120, 343–355.
Lala, D.S., Rice, D.A., Parker, K.L., 1992. Steroidogenic factor I, a key regulator of steroidogenic enzyme expression, is the mouse homolog of fushi tarazu-factor I. Mol. Endocrinol. 6, 1249–1258.
Lee, Y.K., Moore, D.D., 2008. Liver receptor homolog-1, an emerging metabolic modulator. Front. Biosci. 13, 5950–5958.
Lin, C.J., Martens, J.W., Miller, W.L., 2001. NF-1C, Sp1, and Sp3 are essential for transcription of the human gene for P450c17 (steroid 17alpha-hydroxylase/17,20 lyase) in human adrenal NCI-H295A cells. Mol. Endocrinol. 15, 1277–1293.
Luo, X., Ikeda, Y., Parker, K.L., 1994. A cell-specific nuclear receptor is essential for adrenal and gonadal development and sexual differentiation. Cell 77, 481–490.
Masui, S., Shimosato, D., Toyooka, Y., Yagi, R., Takahashi, K., Niwa, H., 2005. An efficient system to establish multiple embryonic stem cell lines carrying an inducible expression unit. Nucleic Acids Res. 33, e43.
Mori, T., Kiyono, T., Imabayashi, H., Takeda, Y., Tsuchiya, K., Miyoshi, S., Makino, H., Matsumoto, K., Saito, H., Ogawa, S., Sakamoto, M., Hata, J., Umezawa, A., 2005.

Combination of hTERT and bmi-1, E6, or E7 induces prolongation of the life span of bone marrow stromal cells from an elderly donor without affecting their neurogenic potential. Mol. Cell Biol. 25, 5183–5195.
Morohashi, K., 1999. Gonadal and extragonadal functions of Ad4BP/SF-1: developmental aspects. Trends Endocrinol. Metab. 10, 169–173.
Morohashi, K., Honda, S., Inomata, Y., Handa, H., Omura, T., 1992. A common transacting factor, Ad4-binding protein, to the promoters of steroidogenic P-450s. J. Biol. Chem. 267, 17913–17919.
Niwa, H., Miyazaki, J., Smith, A.G., 2000. Quantitative expression of Oct-3/4 defines differentiation, dedifferentiation or self-renewal of ES cells. Nat. Genet. 24, 372–376.
Okamoto, T., Aoyama, T., Nakayama, T., Nakamata, T., Hosaka, T., Nishijo, K., Nakamura, T., Kiyono, T., Toguchida, J., 2002. Clonal heterogeneity in differentiation potential of immortalized human mesenchymal stem cells. Biochem. Biophys. Res. Commun. 295, 354–361.
Parker, K.L., Schimmer, B.P., 1997. Steroidogenic factor 1: a key determinant of endocrine development and function. Endocr. Rev. 18, 361–377.
Sadovsky, Y., Crawford, P.A., Woodson, K.G., Polish, J.A., Clements, M.A., Tourtellotte, L.M., Simburger, K., Milbrandt, J., 1995. Mice deficient in the orphan receptor steroidogenic factor 1 lack adrenal glands and gonads but express P450 side-chain-cleavage enzyme in the placenta and have normal embryonic serum levels of corticosteroids. Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A. 92, 10939–10943.
Saxena, D., Escamilla-Hernandez, R., Little-Ihrig, L., Zeleznik, A.J., 2007. Liver receptor homolog-1 and steroidogenic factor-1 have similar actions on rat granulosa cell steroidogenesis. Endocrinology 148, 726–734.
Schimmer, B.P., White, P.C., 2010. Minireview: steroidogenic factor 1: its roles in differentiation, development, and disease. Mol. Endocrinol. 24, 1322–1327.
Sun, C., Nakatake, Y., Akagi, T., Ura, H., Matsuda, T., Nishiyama, A., Koide, H., Ko, M.S., Niwa, H., Yokota, T., 2009. Dax1 binds to Oct3/4 and inhibits its transcriptional activity in embryonic stem cells. Mol. Cell Biol. 29, 4574–4583.
Takashima, Y., Era, T., Nakao, K., Kondo, S., Kasuga, M., Smith, A.G., Nishikawa, S., 2007. Neuroepithelial cells supply an initial transient wave of MSC differentiation. Cell 129, 1377–1388.
Volle, D.H., Duggavathi, R., Magnier, B.C., Houten, S.M., Cummins, C.L., Lobaccaro, J.M., Verhoeven, G., Schoonjans, K., Auwerx, J., 2007. The small heterodimer partner is a gonadal gatekeeper of sexual maturation in male mice. Genes Dev. 21, 303–315.
Wang, Z.N., Bassett, M., Rainey, W.E., 2001. Liver receptor homologue-1 is expressed in the adrenal and can regulate transcription of 11 beta-hydroxylase. J. Mol. Endocrinol. 27, 255–258.
Yanase, T., Gondo, S., Okabe, T., Tanaka, T., Shirohzu, H., Fan, W., Oba, K., Morinaga, H., Nomura, M., Ohe, K.H.N., 2006. Differentiation and regeneration of adrenal tissues: an initial step toward regeneration therapy for steroid insufficiency. Endocr. J. 53, 449–459.
Yazawa, T., Inanoka, Y., Mizutani, T., Kuribayashi, M., Umezawa, A., Miyamoto, K., 2009. Liver Receptor Homolog-1 regulates the transcription of steroidogenic enzymes and induces the differentiation of mesenchymal stem cells into steroidogenic cells. Endocrinology 150, 3885–3893.
Yazawa, T., Inanoka, Y., Okada, R., Mizutani, T., Yamazaki, Y., Usami, Y., Kuribayashi, M., Orisaka, M., Umezawa, A., Miyamoto, K., 2010. PPAR-gamma coactivator-1alpha regulates progesterone production in ovarian granulosa cells with SF-1 and LRH-1. Mol. Endocrinol. 24, 485–496.
Yazawa, T., Mizutani, T., Yamada, K., Kawata, H., Sekiguchi, T., Yoshino, M., Kajitani, T., Shou, Z., Miyamoto, K., 2003. Involvement of cyclic adenosine 5′-monophosphate response element-binding protein, steroidogenic factor 1, and Dax-1 in the regulation of gonadotropin-inducible ovarian transcription factor 1 gene expression by follicle-stimulating hormone in ovarian granulosa cells. Endocinology 144, 1920–1930.
Yazawa, T., Mizutani, T., Yamada, K., Kawata, H., Sekiguchi, T., Yoshino, M., Kajitani, T., Shou, Z., Umezawa, A., Miyamoto, K., 2006. Differentiation of adult stem cells derived from bone marrow stroma into Leydig or adrenocortical cells. Endocrinology 147, 4104–4111.
Yazawa, T., Uesaka, M., Inaoka, Y., Mizutani, T., Sekiguchi, T., Kajitani, T., Kitano, T., Umezawa, A., Miyamoto, K., 2008. Cyp11b1 is induced in the murine gonad by luteinizing hormone/human chorionic gonadotropin and involved in the production of 11-ketotestosterone, a major fish androgen; conservation and evolution of androgen metabolic pathway. Endocrinology 149, 1786–1792.
Yu, R.N., Ito, M., Saunders, T.L., Camper, S.A., Jameson, J.L., 1998. Role of Ahch in gonadal development and gametogenesis. Nat. Genet. 20, 353–357.
Zhang, P., Mellon, S.H., 1996. The orphan nuclear receptor steroidogenic factor-1 regulates the cyclic adenosine 3′,5′-monophosphate-mediated transcriptional activation of rat cytochrome P450c17 (17 alpha-hydroxylase/c17-20 lyase). Mol. Endocrinol. 10, 147–158.

MTOpen

Efficient Generation of Hepatoblasts From Human ES Cells and iPS Cells by Transient Overexpression of Homeobox Gene *HEX*

Mitsuru Inamura[1,2], Kenji Kawabata[2,3], Kazuo Takayama[1,2], Katsuhisa Tashiro[2], Fuminori Sakurai[2], Kazufumi Katayama[1,2], Masashi Toyoda[4], Hidenori Akutsu[4], Yoshitaka Miyagawa[5], Hajime Okita[5], Nobutaka Kiyokawa[5], Akihiro Umezawa[4], Takao Hayakawa[6,7], Miho K Furue[8,9] and Hiroyuki Mizuguchi[1,2]

[1]*Department of Biochemistry and Molecular Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University, Osaka, Japan;* [2]*Laboratory of Stem Cell Regulation, National Institute of Biomedical Innovation, Osaka, Japan;* [3]*Department of Biomedical Innovation, Graduate School of Pharmaceutical Science, Osaka University, Osaka, Japan;* [4]*Department of Reproductive Biology, National Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan;* [5]*Department of Developmental Biology and Pathology, National Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan;* [6]*Pharmaceutics and Medical Devices Agency, Tokyo, Japan;* [7]*Pharmaceutical Research and Technology Institute, Kinki University, Osaka, Japan;* [8]*JCRB Cell Bank/Laboratory of Cell Culture, Department of Disease Bioresource, National Institute of Biomedical Innovation, Osaka, Japan;* [9]*Laboratory of Cell Processing, Institute for Frontier Medical Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan*

Human embryonic stem cells (ESCs) and induced pluripotent stem cells (iPSCs) have the potential to differentiate into all cell lineages, including hepatocytes, *in vitro*. Induced hepatocytes have a wide range of potential application in biomedical research, drug discovery, and the treatment of liver disease. However, the existing protocols for hepatic differentiation of PSCs are not very efficient. In this study, we developed an efficient method to induce hepatoblasts, which are progenitors of hepatocytes, from human ESCs and iPSCs by overexpression of the *HEX* gene, which is a homeotic gene and also essential for hepatic differentiation, using a HEX-expressing adenovirus (Ad) vector under serum/feeder cell-free chemically defined conditions. Ad-HEX-transduced cells expressed α-fetoprotein (AFP) at day 9 and then expressed albumin (ALB) at day 12. Furthermore, the Ad-HEX-transduced cells derived from human iPSCs also produced several cytochrome P450 (CYP) isozymes, and these P450 isozymes were capable of converting the substrates to metabolites and responding to the chemical stimulation. Our differentiation protocol using Ad vector-mediated transient HEX transduction under chemically defined conditions efficiently generates hepatoblasts from human ESCs and iPSCs. Thus, our methods would be useful for not only drug screening but also therapeutic applications.

Received 18 March 2010; accepted 13 October 2010; published online 23 November 2010. doi:10.1038/mt.2010.241

INTRODUCTION

Human embryonic stem cells (ESCs) and induced pluripotent stem cells (iPSCs) are able to replicate indefinitely and differentiate into most cell types of the body,[1–4] and thereby have the potential to provide an unlimited source of cells for a variety of applications.[5] Hepatocytes are useful cells for biomedical research, regenerative medicine, and drug discovery. They are particularly applicable to drug screenings, such as for the determination of metabolic and toxicological properties of drug compounds in *in vitro* models, because the liver is the main detoxification organ in the body.[6] For these applications, it is necessary to prepare a large number of functional hepatocytes from human ESCs and iPSCs. Many of the existing methods for cell differentiation of human ESCs and iPSCs into hepatocytes employ undefined, serum-containing medium and feeder cells.[7–9] Preparation of human ESC- and iPSC-derived hepatocytes for therapeutic applications and drug toxicity testing in humans should be done in nonxenogenic culture systems to avoid potential contamination with pathogens. Furthermore, the efficiency of the differentiation of the human ESCs and iPSCs into hepatocytes is not particularly high using these methods.[9–14]

In vertebrate development, the liver is derived from the primitive gut tube, which is formed by a flat sheet of cells called the definitive endoderm.[5,15] Shortly afterwards, the definitive endoderm is separated into endoderm derivatives containing the liver bud, the cells of which are referred to as hepatoblasts. The hepatoblasts have the potential to proliferate and differentiate into both hepatocytes and cholangiocytes. In the process of hepatic differentiation, the maturation is characterized by the expression of liver- and stage-specific genes. For example, α-fetoprotein (AFP) is an early hepatic marker, which is expressed in hepatoblasts in the liver bud until birth, and its expression is dramatically reduced after birth.[16] In contrast, albumin (ALB), which is the most abundant protein synthesized by hepatocytes, is initially expressed at lower levels in early fetal hepatocytes, but its expression level is increased as the hepatocytes mature, reaching a maximum in adult hepatocytes.[17] Furthermore, isoforms of cytochrome P450 (CYP) proteins also exhibit differential expression levels according to the developmental stages

Correspondence: *Hiroyuki Mizuguchi, Department of Biochemistry and Molecular Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University, 1-6 Yamadaoka, Suita, Osaka 565-0871, Japan. E-mail: mizuguch@phs.osaka-u.ac.jp*

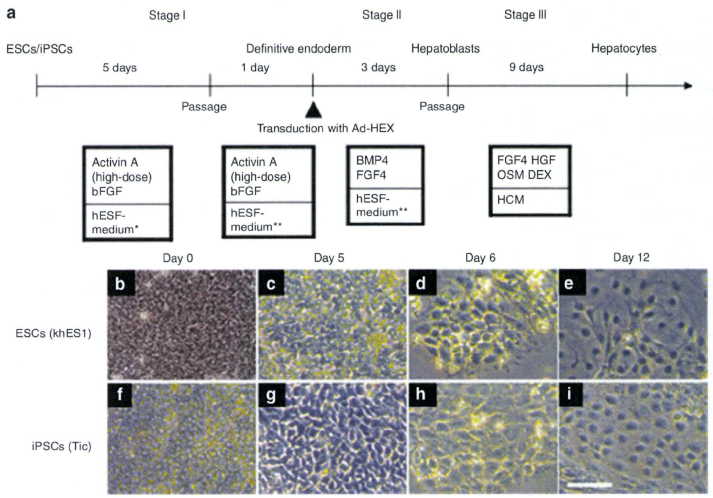


Figure 1 A strategy of differentiation of human embryonic stem cells (ESCs) and induced pluripotent stem cells (iPSCs) to hepatoblasts and hepatocytes. (**a**) Schematic representation illustrating the procedure for differentiation of human ESCs (khES1) and iPSCs (Tic) to hepatocytes. (**b–i**) Phase contrast microscopy showing sequential morphological changes (day 0–12) from (**b–e**) human ESCs (khES1) and (**f–i**) iPSCs (Tic) to hepatoblasts via the definitive endoderm. Bar = 50 µm. bFGF, basic fibroblast growth factor; BMP4, bone morphogenetic protein 4; DEX, dexamethasone; FGF4, fibroblast growth factor 4; HGF, hepatocyte growth factor; OSM, Oncostatin M; HCM, hepatocytes culture medium; *, hESF-GRO medium that was supplemented with 10 µg/ml human recombinant insulin, 5 µg/ml human apotransferrin, 10 µmol/l 2-mercaptoethanol, 10 µmol/l ethanolamine, 10 µmol/l sodium selenite, 0.5 mg/ml fatty acid free BSA; **, hESF-DIF medium that was supplemented with 10 µg/ml insulin, 5 µg/ml apotransferrin, 10 µmol/l 2-mercaptoethanol, 10 µmol/l ethanolamine, 10 µmol/l sodium selenite, 0.5 mg/ml BSA.

of the liver. Although most CYPs (including CYP3A4, CYP7A1, and CYP2D6) are only slightly expressed or not detected in the fetal liver tissue, the expression levels are dramatically increased after birth.[18]

For the development of hepatoblasts, numerous transcription factors are required, such as hematopoietically expressed homeobox (*HEX*), GATA-binding protein 6, prospero homeobox 1, and hepatocyte nuclear factor 4A.[15,19] Among them, *HEX* is suggested to function at the earliest stage of hepatic linage.[20] HEX is first expressed in the definitive endoderm and becomes restricted to the future hepatoblasts. Targeted deletion of the *HEX* gene in the mouse results in embryonic lethality and a dramatic loss of the fetal liver parenchyma.[19,21,22] The hepatic genes, including *ALB*, prospero homeobox1, and hepatocyte nuclear factor 4A, are transiently expressed in the definitive endoderm of *HEX*-null embryos, and further morphogenesis of the hepatoblasts does not occur.[23] In general, then, *HEX* is essential for the definitive endoderm to adopt a hepatic cell fate.

Adenovirus (Ad) vectors are one of the most efficient gene delivery vehicles and have been widely used in both experimental studies and clinical trials.[24] Ad vectors are attractive vehicles for gene transfer because they are easily constructed, can be prepared in high titers, and provide high transduction efficiency in both dividing and nondividing cells. We have developed efficient methods for Ad vector-mediated transient transduction into mouse ESCs and iPSCs.[25,26] We have also showed that the differentiations of mouse ESCs and iPSCs into adipocytes and osteoblasts were dramatically promoted by Ad vector-mediated peroxisome proliferator activated receptor γ and runt related transcription factor 2 transduction, respectively.[25,26]

In this study, we hypothesized that transient *HEX* transduction could efficiently induce hepatoblasts from human ESCs and iPSCs. A previous study demonstrated that *HEX* regulates the differentiation of hemangioblasts and endothelial cells from mouse ESCs,[27] whereas the role of *HEX* in the differentiation of hepatoblasts from human ESCs and iPSCs remains unknown. We found that differentiation of hepatoblasts from the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms, but not from undifferentiated human ESCs and iPSCs, could be facilitated by Ad vector-mediated transient transduction of a *HEX* gene. Furthermore, the Ad-HEX-transduced cells that were derived from human iPSCs were able to differentiate into functional hepatocytes *in vitro*. All the processes for cellular differentiation were performed under serum/feeder cell- free chemically defined conditions. Our culture systems and differentiation method based on Ad vector-mediated transient transduction under chemically defined conditions would provide a platform for drug screening as well as safe therapies.

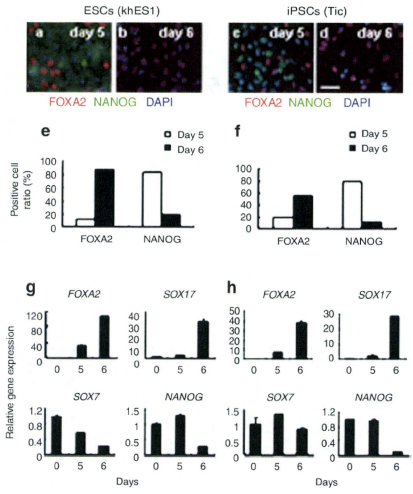


Figure 2 Characterization of the human ESC (khES1)- and iPSC (Tic) derived definitive endoderms. (**a–d**) The immunofluorescent staining of the human ESC (khES1)- and iPSC (Tic) derived differentiated cells before (**a** and **c**; day 5) and after passaging (**b** and **d**; day 6). The cells were immunostained with antibodies against FOXA2 and NANOG. Nuclei were stained with DAPI. (**e**,**f**) Semiquantitative analysis of the immunofluorescent staining in **a–d**. Data are presented as the mean of immunopositive cells counted in eight independent fields. (**g**,**h**) Real-time RT-PCR analysis of the level of definitive endoderm (*FOXA2* and *SOX17*), pluripotent (*NANOG*), and extra-embryonic endoderm (*SOX7*) gene expression at day 5 and 6. At day 5, the cells were passaged. Therefore, the data at day 5 and 6 show the levels of gene expression before (at day 5) or after the passage (at day 6). Data are presented as the mean ± SD from triplicate experiments. The graphs represent the relative gene expression level when the level of undifferentiated cells at day 0 was taken as 1. Bar = 50 μm. ESC, embryonic stem cells; iPSC, induced pluripotent stem cells.

RESULTS

Differentiation of human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms

Our three-step differentiation protocol is illustrated in Figure 1a. After treatment with 50 ng/ml of Activin A (high-dose) and basic fibroblast growth factor (bFGF) for 5 days on a laminin-coated plate, morphologically, the human ESCs and iPSCs were gradually transformed from typical, defined, tight human ESC, and iPSC colonies (day 0) into less dense, flatter cells containing prominent nuclei (day 5), even though the majority of the cells had a morphology resembling that of undifferentiated cells (Figure 1b,c,f,g). FACS analysis showed that ~46% of human iPSC-derived differentiated cells expressed CXCR4 (expressed in the definitive endoderm but not the primitive endoderm) (**Supplementary Figure S1a**). Human ESC- and iPSC-derived differentiated cells were immunostained with the definitive endoderm marker, FOXA2 (Figure 2a,c). However, the majority of the cells expressed the pluripotent marker NANOG, indicating that undifferentiated cells remain in the induced cultures at day 5. After the cells were passaged with trypsin-EDTA and seeded on a laminin-coated plate a second time, the resultant cells were found to be more homogeneous and flatter at day 6 (Figure 1d,h). Semiquantitative analysis by counting immunopositive cells revealed that the number of FOXA2-positive cells was increased and, in turn, the number of NANOG-positive cells was decreased at day 6 after passaging (Figure 2e,f). Real-time reverse transcriptase (RT)-PCR analysis showed that the definitive endoderm markers *FOXA2* and *SOX17* mRNA were upregulated, whereas the pluripotent marker *NANOG* mRNA was downregulated at day 6 (Figure 2g,h). These results were consistent with the immunofluorescence results (Figure 2a–d). The expression levels of the mesoderm marker *FLK1* mRNA and ectoderm marker *PAX6* mRNA were downregulated or unchanged at day 6 (**Supplementary Figure S1b–e**). Importantly, the expression of *SOX7* mRNA (expressed in the extra-embryonic endoderm but not the definitive endoderm) was downregulated (Figure 2g,h). These results indicate that the definitive endoderm is induced or selected from human ESCs and iPSCs after passaging. We obtained the same results using another human iPSC line (**Supplementary Figure S2a–d**).

HEX induces hepatoblasts from the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms

To investigate whether forced expression of transcription factors could promote hepatic differentiation, the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms were transduced with Ad vectors. We used a fiber-modified Ad vector containing the elongation factor-1α promoter and a stretch of lysine residue (K7) peptides in the C-terminal region of the fiber knob to examine the transduction efficiency in the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms. The elongation factor-1α promoter was found to be highly active in human ESCs.[28] The K7 peptide targets heparan sulfates on the cellular surface, and the fiber-modified Ad vector containing K7 peptides was shown to be efficient for transduction into many kinds of cells.[29,30] The human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms were transduced with a LacZ-expressing Ad vector (Ad-LacZ) at 3,000 vector particle/cell. X-Gal staining showed that the Ad-LacZ-transduced human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms successfully expressed LacZ (Figure 3). Nearly 100% of the cells transduced with Ad-LacZ were strongly X-gal positive. The transduction efficiency in the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms transduced with the conventional Ad vector containing the wild-type capsid at 3,000 vector particle/cell was ~80% and X-gal staining was much weaker than that in the cells transduced with fiber-modified Ad vectors (**Supplementary Figure S6**).

Next, the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms were transduced with a HEX-expressing fiber-modified Ad vector (Ad-HEX). Although HEX is known to be a transcription factor that is essential for liver development, it remains unclear what the effect of transient *HEX* overexpression is on differentiation from human ESCs and iPSCs or their derivatives *in vitro*. We confirmed the overexpression of *HEX* in the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms transduced with Ad-HEX (**Supplementary Figure S3a–f**). Gene expression analysis revealed the upregulation of *AFP* mRNA, which was expressed by hepatoblasts or early hepatocytes, in Ad-HEX-transduced cells as

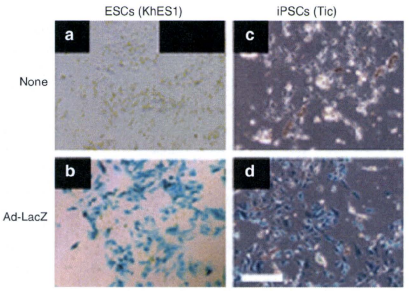


Figure 3 Efficient transgene expression in the human ESC (khES1)- and iPSC (Tic) derived definitive endoderms by using a fiber-modified Ad vector containing the EF-1α promoter. (**a,b**) Human ESC (khES1)-derived and (**c,d**) iPSC (Tic) derived definitive endoderms were transduced with 3,000VP/cell of Ad-LacZ for 1.5 hours. The next day after transduction, X-gal staining was performed as described in the Materials and Methods section. Similar results were obtained in two independent experiments. Scale = 50μm. Ad, adenovirus; EF-1α, elongation factor-1α; ESC, embryonic stem cells; iPSC, induced pluripotent stem cells; LacZ, Ad-LacZ-transduced cells; None, nontransduced cells.

compared with nontransduced cells or Ad-LacZ-transduced cells (Figure 4a,c). Expression of *ALB* mRNA, which is the most abundant protein in liver, was also observed in Ad-HEX-transduced cells (Figure 4b,d).

During liver development, both hepatocytes and cholangiocytes were differentiated from the hepatoblasts. We examined the protein expression of AFP, ALB, and the cholangiocyte marker cytokeratin 7 (CK7) in Ad-HEX-transduced cells by immunostaining (Figure 4e–p). The AFP-positive populations were detected in Ad-HEX-transduced cells (Figure 4g,m). ALB-positive cells were also detected, although the detection efficiency was very low (Figure 4j,p). CK7-positive cells were observed among the Ad-HEX-transduced cells, and all CK7-positive cells were found near the AFP- and ALB-positive cells, suggesting that hepatoblasts are generated by the transient overexpression of a *HEX* gene. Semiquantitative RT-PCR analysis showed that the expression levels of the liver-enriched transcription factors hepatocyte nuclear factor 1A, hepatocyte nuclear factor 1B, hepatocyte nuclear factor 4A, and hepatocyte nuclear factor 6 mRNA were upregulated in Ad-HEX-transduced cells (**Supplementary Figure S4a,b**). The expressions of CCAAT/enhancer binding protein α and prospero homeobox 1 mRNA, two transcription factors known to play a pivotal role in the establishment of the hepatoblasts, were also induced in Ad-HEX-transduced cells (**Supplementary Figure S4a, b**). Taken together, these findings indicate that *HEX* enhances the specification of hepatoblasts from the human ESC- and iPSC-derived definitive endoderms. Similar results were obtained with another human iPSC line (**Supplementary Figure S2e–g**).

Time course of differentiation of the definitive endoderm to hepatoblasts

Next, we examined the time course of AFP and CK7 expression during differentiation of human iPSCs to hepatoblasts in Ad-HEX-

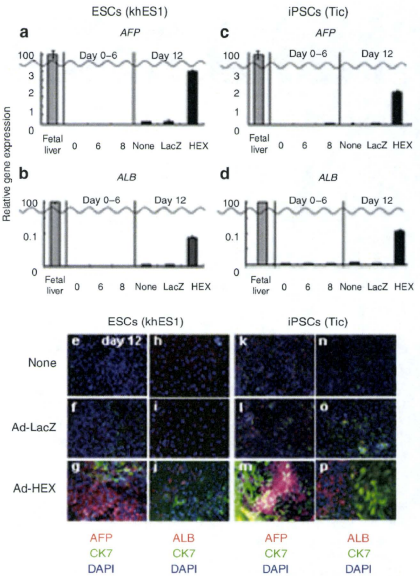


Figure 4 Efficient hepatoblast differentiation from the human ESC (khES1)- and iPSC (Tic) derived definitive endoderms by transduction of the *HEX* gene. (**a–d**) Real-time RT-PCR analysis of the level of (**a,c**) *AFP* and (**b,d**) *ALB* expression in nontransduced cells, Ad-LacZ-transduced cells, and Ad-HEX-transduced cells, all of which were induced from the human ESC (khES1)- and iPSC (Tic) derived definitive endoderms (day 0, 5, 6, and 12). The cells were transduced with Ad-LacZ or Ad-HEX at day 6 as described in **Figure 1a**. The data at day 6 was obtained before the transduction with Ad-HEX. The graphs represent the relative gene expression levels when the level in the fetal liver was taken as 100. (**e–p**) Immunocytochemistry of AFP, ALB, and CK7 expression in nontransduced cells (**e**,**h**,**k**, and **n**), Ad-LacZ-transduced cells (**f**,**i**,**l**, and **o**), and Ad-HEX-transduced cells (**g**,**j**,**m**, and **p**) at day 12, all of which were induced from the human ESC (khES1)- and iPSC (Tic) derived definitive endoderms. Nuclei were stained with DAPI. Bar = 50μm. Ad, adenovirus; AFP, α-fetoprotein; ALB, albumin; CK7, cytokeratin 7; HEX, Ad-HEX-transduced cells; ESC, embryonic stem cells; iPSC, induced pluripotent stem cell; LacZ, Ad-LacZ-transduced cells; None, nontransduced cells.

transduced cells and nontransduced cells. At day 7 (the day after transduction), the expression of AFP was not detectable in Ad-HEX-transduced or nontransduced cells (**Supplementary Figure S5a,d**). At day 8–9, morphological changes to hepatocyte-like cells were observed in Ad-HEX-transduced cells (**Supplementary Figure S5h,i**). We also observed homogeneous AFP-positive cells at day 9 (**Supplementary Figure S5e**). At day 10, CK7-positive cells appeared, indicating that hepatoblasts started to differentiate into hepatocytes and cholangiocytes at day 9–10 (**Supplementary Figure S5f**). At day 12, ALB-positive cells appeared, indicating that hepatocytes were differentiated from Ad-HEX-transduced cells (Figure 4p). These results showed that *HEX* induces the hepatoblasts from the

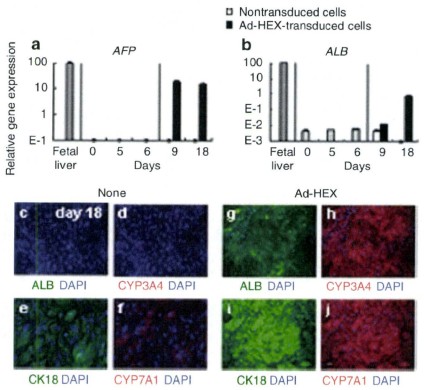


Figure 5 Efficient differentiation of Ad-HEX-transduced hepatoblasts into hepatocytes. (**a**,**b**) Real-time RT-PCR analysis of (**a**) *AFP* and (**b**) *ALB* expression in nontransduced cells and Ad-HEX-transduced cells, both of which were induced from the human iPSC (Tic) derived definitive endoderm (day 0, 5, 6, and 12). The cells were transduced with Ad-HEX at day 6 as described in **Figure 1a**. The data at day 6 were obtained before the transduction with Ad-HEX. The graphs represent the relative gene expression level when the level in the fetal liver was taken as 100. (**c–j**) Immunocytochemistry of ALB, CYP3A4, *CYP7A1*, and CK18 expression in (**c–f**) nontransduced cells and (**g–j**) Ad-HEX-transduced cells, all of which were induced from the human iPSC (Tic) derived definitive endoderm at day 18. Nuclei were stained with DAPI. Bar = 50 μm. Ad, adenovirus; AFP, α-fetoprotein; ALB, albumin; CK18, cytokeratin 18; ESC, embryonic stem cells; HEX, Ad-HEX-transduced cells; iPSC, induced pluripotent stem cell; None, nontransduced cells; RT-PCR, reverse transcriptase-PCR.

definitive endoderm, and the Ad-HEX-transduced cells could differentiate into both hepatocytes and cholangiocytes.

Directed hepatic differentiation from hepatoblasts

With the protocol described above, heterogeneous populations containing CK7-positive cholangiocytes were observed at day 12 (**Figure 4p**). To promote the differentiation of hepatoblasts to hepatocytes, the human iPSC-derived differentiated cells at day 9 (**Supplementary Figure S5e**) were dislodged with trypsin-EDTA and plated on collagen I-coated dishes as previously reported.[11] After 8–11 days in culture with medium containing FGF4, HGF, OSM, and DEX, the Ad-HEX-transduced cells became more flattened (**Supplementary Figure S5m**), whereas the nontransduced cells became fibroblast-like cells (**Supplementary Figure S5i**). Gene expression analysis showed the upregulation of *ALB* mRNA in Ad-HEX-transduced cells under this culture condition, whereas the expression of *ALB* mRNA was reduced in the nontransduced cells at day 18 (**Figure 5b**). Immunostaining showed that only a small percentage of Ad-HEX-transduced cells expressed ALB at day 12 (**Figure 4p**), whereas most of the Ad-HEX-transduced cells were ALB-positive at day 18 (**Figure 5g**). Most of the Ad-HEX-transduced cells also expressed CYP3A4 at day 18 (**Figure 5h**). More importantly, in the Ad-HEX-transduced cells, CYP7A1 and cytokeratin 18 were detected and these proteins are known

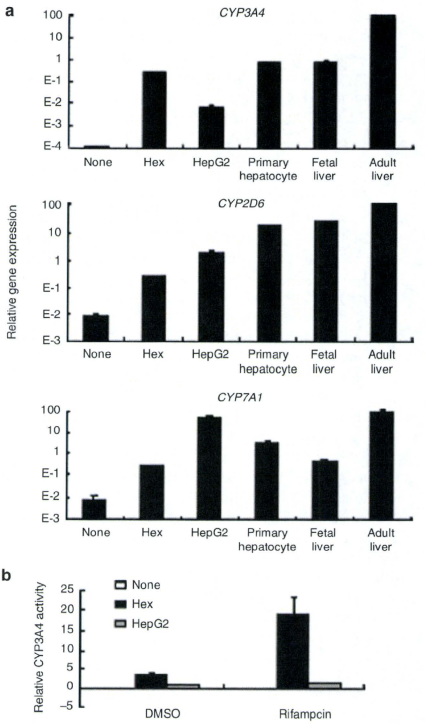


Figure 6 Cytochrome P450 isozymes in human iPSC (Tic) derived hepatocytes. (**a**) Real-time RT-PCR analysis of *CYP3A4*, *CYP7A1*, and *CYP2D6* expression in iPSC (Tic) derived nontransduced cells, Ad-HEX-transduced cells, and fetal and adult liver tissues. (**b**) Induction of CYP3A4 by rifampicin in human iPSC (Tic) derived nontransduced cells, Ad-HEX-transduced cells, the HepG2 cell line and primary human hepatocytes, which were cultured 48 hours after plating the cells. Data are presented as the mean ± SD from triplicate experiments. The graphs represent the relative gene expression level when the level in the adult liver was taken as 100. AFP, α-fetoprotein; ALB, albumin; DMSO, dimethyl sulfoxide; ESC, embryonic stem cells; HEX, Ad-HEX-transduced cells; iPSC, induced pluripotent stem cell; LacZ, Ad-LacZ-transduced cells; None, nontransduced cells.

to be detected in hepatocytes but not in extra-embryonic cells[31,32] (**Figure 5i,j**). Quantitative analysis showed that ~84, 80, 88, and 92% of Ad-HEX-transduced cells expressed ALB, CYP3A4, CYP7A1, and cytokeratin 18, respectively. These results indicate that Ad-HEX-transduced cells could differentiate to hepatic cells. However, the expression level of *ALB* mRNA in Ad-HEX-transduced cells was lower than that in fetal liver tissue and in turn, the expression of *AFP* mRNA was maintained (**Figure 5a**). Therefore, Ad-HEX-transduced cells are committed to the hepatic linage, but are not yet mature hepatocytes.